**「児童青年精神医学とその近接領域」チェックリスト**

|  |  |
| --- | --- |
| **責任著者名：**  | **記入日：** |
| **論文タイトル：** |
| 1. **提出書類　（すべて揃っていることを確認）**
 |
| □　元原稿（片面印刷）□　原稿のコピー（3部）（片面印刷） | □　投稿票□　チェックリスト（本紙） | □　患者同意書コピー（必要な場合）□　利益相反申告書類（共著者分含む） |
| 1. **版権**
 | はい | いいえ | 該当せず |
| 1. この論文は未公刊であり，他の学術誌に同時投稿していない
2. 引用文には，すべて出典の所載ページ数が入っている
3. 既刊の図表などの引用については著作権を持つものから承諾を受けた
 | □□□ | □□□ | □□ |
| 1. **原稿内容**
 |  |  |  |
| 1. 本学会の投稿規程をよく読み，この論文が規定に準じていることを確認した
2. 1ページ1,200字程度のA4用紙を使用し，ページ番号が振られている
3. 原著もしくは，これに準ずる論文には，600字以内の「要約」をつけている
4. 「要約」の文末には，索引用語（Key words）がついている
5. 原著もしくは，これに準ずる論文には， Native Checkを受けた英文抄録（和文の要約に準じたもの）がついている（証明書があれば提出が望ましい）
6. 図表の番号と表題が，図の場合は図の下に，表の場合は表の上に明記され，本文中に挿入場所が明示されている
7. 利益相反（COI）について、本学会ホームページ上の利益相反（COI）の項を参照し，規定の書類を提出するとともに，その旨を論文末尾に明記されている
8. 引用文献が投稿規定に則って記載されている（※則っていない場合にはそのまま返却されることがあります）
 | □□□□□□□□ | □□□□□□□□ | □□□□□□ |
| 1. **倫理的配慮**
 |  |  |  |
| 人または動物における biomedical研究（実験的治療を含む）について1. ヘルシンキ宣言（以後の改訂や補足事項を含む），その他の倫理規定に従っている
2. 所属の倫理委員会（倫理委員会がない場合には適切な機関）の承認を得た

（上記2.が いいえ の場合）倫理委員会に通す必要がない（ はい の場合は理由：　 　　　 　 ／ いいえ の場合は通してください）（上記2.が いいえ の場合）以下の倫理的配慮がなされている1. 人を対象とした研究に関しては，文部科学省および厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」，あるいは文部科学省，厚生労働省，経済産業省による「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に則った倫理的配慮に留意した
2. 実験や調査に先立ち，実験や調査の内容について十分な説明をした上で，インフォームドコンセント，および（必要な場合）保護者の同意を得た
3. 研究に協力したくない場合は拒否できること，拒否しても不利益を被らないことを説明した
4. 研究によって得られた成果は，学会発表や学術雑誌などで発表することを説明した

（全ての研究参加者に説明できない場合）調査報告をすることを公表している1. 本文中に個人情報が含まれていない。不適切あるいは差別的な用語や表現は含まれていない
2. 上記の倫理規定に従っている旨が，本文中に簡潔に記載されている
 | □□□□□□□□□ | □□□□□□□□□ | □□□□□ |